

旧友との京めぐり(細見さんを偲ぶ)

二十六回生 川原(河井)一恵

十年余も前のことになりましたが、千里山会に出席した折に「京都の紅葉を見たい」という話ができました。「いつか行きましょう」というとなかなか実行できないので思い切って今年ぜひということになりました。京都にお住まいの細見彰さんが案内して下さいました。ということも私達の気持ちを押してくれました。急に決まったので先ず宿をさがすことから始めました。紅葉シーズンなので京都では見つからず、大阪に泊まるという二泊三日の旅となりました。

京都を我が庭のようにご存知の細見さんがとても行き届いた計画を立てて下さったので行く前から楽しみがふくらみました。

順調に準備も整い十一月末に五人で出かけました。二日目には大阪からも一人加わりました。一緒に旅をするのは小学校の修学旅行以来、それも皆クラスが異なっていたので初めてと同じです。気を遣うのではと少々心配もありましたが千里山で共に過ごしたお仲

その後哲学の道、法然院、真如堂など変化に富んだ紅葉を見て吉田山に登り、鴨川を渡りと歩き続けました。途中細見さんの母校京都大学でお茶をいただきながらひと休み、このような体験はなかなかできないのでいい思い出になっています。

京都大学時計塔の前で細見さんを真ん中に



間です、和気あいあいの旅となりました。京めぐりは二日目の朝早くから紅葉真っ盛りの南禅寺から出発しました。素晴らしい眺めはまさに絶景でした。南禅寺



法然院門前



その日の最後は夕暮れせまる京都御苑でした。歴史のあとをいろいろな説明を聞き、予定通り終了でした。一日中乗り物は使わず歩け、歩けでした。いい時に行ったと思います、皆、後期高齢者になった今では不可能だったと思います。後で地図を見てよく歩き通せたと自分でも感心しました。

夕食はおいしい京料理を味わい、その日一日の楽しかったことに話はずみしました。夕食後は夜にもかかわらず細見さんのお宅に伺いました。ご自分の専門分野の科学のお話をして下さったのですが、なんと難しい研究をされているのだろうかと思いましたが、奥様とも親しくお話させていただき嬉しかったです。

こんなに楽しい、充実した京散策を考えて下さった細見さん、昨年九月に亡くなられました。とても寂しい思いでいます。

その後も鞍馬や貴船、梅ノ尾や高雄方面へも一緒にしました。

このようなことがありましたので京都がとても身近かに感じられるようになりました。

それ以後気儘に一人で、時には夫と二人で地図や本を手に出かけています。偶には迷子のような時もあります。思いがけない発見もありそれもまた楽しみです。

これからもゆつくり、のんびり古都歩きをしたいと思っています。